

介護部会 横浜南ブロック会議報告書

開催日時 令和4年1月20日(木) 14:30~16:30

開催場所 各施設 WEB会議

参加施設 計8施設 11名参加

横浜磯子 ひとりざわ あさひな 湘南グリーン上郷 レストア横浜

こもればい えきさい横浜 脳卒中神経脊髄科センター・コスモス

議事項目 新型コロナウイルス関連の対応について

各施設報告

① 日々の職員の体調チェックはどのように行っているか?チェックしてる内容について

・出勤、退勤時に出入口で検温し記録。毎週火曜日にPCR検査を実施し結果は土曜に知らせている。

・出勤前自宅で検温し37度以上であれば会社へ連絡しPCR検査実施。出勤時にも検温している

・出勤時職員玄関で検温実施。咽頭痛、倦怠感などの症状についてチェック項目あり。感染委員会で保管

・出勤時職員玄関で手指消毒、検温実施。チェックリスト記入。37.5℃以上の場合自分の携帯でフロアに連絡する。鼻汁、咳、咽頭痛が4日以上続いたら出勤停止。4日続く前に受診しコロナ疑いなければ出勤可能

・今後他会社が作った体調チェック用のアプリに移行予定

・自宅と出勤時タイムカードを押す際の2回検温実施。風邪症状も記録

・出勤時玄関で検温、手指消毒実施。感染症チェックリストに記載。看護師のチェックを受けてから勤務に入る。

② 職員のへ発熱や体調不良時の対応はどのようにしているか? (何日休ませるか等)

職員の家族等同居してる方が体調不良時の対応はどのようにしているか?

【職員】

・37.4℃以上で報告。受診しPCR検査実施。陰性の場合、解熱、その他の症状が消失するまで出勤停止

・37℃以上でPCR検査し陰性であれば解熱した後出勤。

・濃厚接触者の場合は原則2週間出勤停止。他は風邪症状を確認し受診、自宅療養期間については都度上司が判断、決定

・母体病院でPCR検査。陰性なら出勤可。陽性は10日間自宅隔離。

- ・受診し診断をもらう。発熱時は解熱後 48 時間経過し症状がなければ出勤可。咳、鼻汁、咽頭痛等の症状が 4 日以上続いた際は出勤停止とし病院受診する。
- ・37.1°C以上の熱発で出勤見合わせ。頭痛、咳等ある場合は出勤前に会社に連絡指示を仰ぐ
- ・受診しコロナでないとの診断があれば回復次第出勤可能。
- ・フローチャートに沿って対応。本人が体調不良となった場合は職員のみ受診 PCR 検査実施。

【家族】

- ・家族内に発生時は原則 14 日間出勤停止。発生時と 14 日後出勤前に PCR 検査を実施。陰性なら出勤可
- ・母体の病院で PCR 検査。濃厚接触者の場合は本人も PCR 検査実施。
- ・受診しコロナ疑いないとの診断もらえれば出勤可。PCR 検査を実施したら結果出るまで自宅待機
- ・37°C以上あった場合は休み。日数は決めておらず、熱が続く場合は受診後判断。
- ・家族が体調不良の場合は家族が受診し PCR 検査実施。職員は症状がなければ PCR センターで検査を受ける。発症日を 1 日目とし症状がなければ 6 日目より就業可

③ 家族の面会はどのようにして行っていますか？

- ・ワクチン 2 回接種済（利用者、家族共に）アクリル板で囲いマスク着用のもと実施。
- ・タブレット使用し 16 時～17 時のうち 1 家族 2 名まで。10 分程度。平日のみ 1 日 2 家族
- ・窓越しで携帯電話を使用し実施
- ・看取り対象者、体調不良者は個別に判断し一部許可。他はアクリル板越し。
- ・ガラス越しでスピーカー使用し面談室にて実施。
- ・ライン電話、アイパッド使用
- ・認知症等で不穏、状況変化が著しい等に該当する場合、施設長 or 副施設長の許可があれば可。シールド設置、送風機稼働し喚起を徹底し実施。
- ・施設玄関にてスカイプ

④ 利用者の外出は許可していますか？また対応で気を付けてる事などはありますか？

- ・看護師付き添いでの受診
- ・自宅外出は家族がワクチン接種済か否かを確認の上許可
- ・外出、外泊ともに禁止
- ・受診したら 1 週間隔離。それ以外は毎日の検温帰設後は 2 週間隔離予定。
- ・不要不急の外出と受診のみ許可。冠婚葬祭など特別な場合のみ実施。

⑤ 利用者の入所受け（ショートステイ、本入所）での対応がどのようにしているか？

コロナ禍と以前で対応が変更になってる事はあるか？

- ・本入所：ワクチン2回済、PCR検査なし、1泊2日カーテン隔離
ワクチン1回済：診療所でPCR検査、4泊5日隔離
- ・入所3日前より熱測定してもらい、37°C以上の場合は延期またはキャンセルしていただいている。
- ・本入所・ワクチン済 2週間隔離 未接種 3週間隔離 受け入れ居室固定。4人部屋は2名、2人部屋は1名に定員設定。オリエンテーションは事務所前。実施方法や書類の簡略化を図った。
- ・自宅：送迎車で抗原検査を実施。陰性確認後入所。
- ・病院：前医でPCR検査実施。
- ・ショートステイ：ショートステイ対応のフロアを作り1フロアで対応。
- ・本入所：新規の方は3日間個室対応。食席も10メートルぐらい離して別にする。
- ・施設や病院からの受け入れは特になし。自宅からの入所は2週間体調チェック記入する。
- ・感染拡大時は受け入れ中止。家族と相談のうえ、本入所として受け入れていた。
- ・緊急事態宣言中は受け入れせず。2回目のワクチン後より入所可としてる。

⑥ 各施設で発生時の対応法について職員研修を行っているか？行っている場合どのような内容の研修を行っているか？

- ・感染症委員会、コロナチームでシュミレーションと定期的に勉強会を実施。ガウンテクニックと発生時を想定したシュミレーションを実施。
- ・ガウンテクニック、ゾーニング、欠員発生時を想定した模擬訓練実施。
- ・未実施。週1回のコロナ対策会議にて情報共有している。
- ・全体的な研修は年1回。毎月の感染対策委員会で情報共有行っている。
- ・ゾーニングの勉強会、防護衣の着脱方法 2月にBCPの勉強会を実施予定
- ・防護エプロンの着脱DVD視聴。ゾーニングの居室の使い方マニュアルの研修実施。
- ・PPE着脱の研修、チェックリストに沿って感染委員会がテストを行い合格するまで実施。
- ・感染委員会による感染者発生時のシュミレーション実施。今後職員も実施予定